



令和8年4月10日

午後3時30分

## 企画展「Museum Bird—資料の中の鳥とりどり—」を開催します

当館が収蔵する資料を中心に、鳥が描かれたものやかたどられたものを、考古・歴史・民俗・美術のジャンルを超えて紹介します。

- 1 期 間 4月18日（土）～6月7日（日）  
午前9時～午後5時（ただし、入館は午後4時30分まで）  
※ 入館無料日 4月18日（土）企画展初日  
5月16日（土）、17日（日）国際博物館の日
- 2 場 所 一関市博物館 企画展示室（巖美町字沖野々215番地1 0191-29-3180）
- 3 内 容 ・ 関連行事も実施しています  
・ 詳しくは添付のチラシを参照してください

問い合わせ先

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1

一関市博物館 主任学芸員 小味

電話：(0191)29-3180 FAX：(0191)33-4006

メールアドレス：hakubutsukan@city.ichinoseki.iwate.jp

企画展

資料の中の

鳥とりどり

# Museum Bird

会期 令和8年4月18日(土)~6月7日(日)

休館日/毎週月曜日、但し、5月4日(月・祝)は開館し5月7日(木)が休館となります。

打掛の刺繍より

一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1  
TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006  
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



企画展

# MUSEUM BIRD

## 資料の中の鳥とりどり



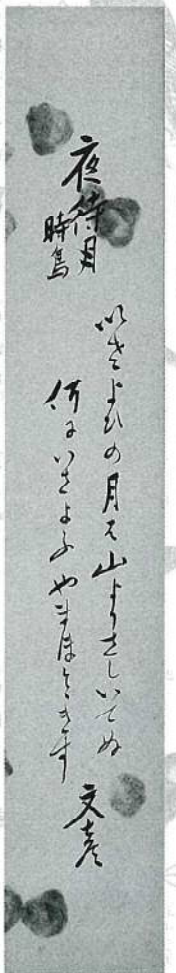
印籠



菓子型

私たちの暮らしの中で鳥は、大変身近な動物です。多くの鳥は「空を飛ぶ」存在であるため、神聖さや自由の象徴になりやすく、信仰対象や縁起のよい(あるいは悪い)生き物として、特別に扱われてきました。例えば、ニワトリは、人が生きていくための食糧となりますが、朝を告げる鳥として、吉兆を司るという考えもあります。当市で伝承されている鶏舞の装束にも、ニワトリが描かれています。また、和歌や俳句では季語として鳥が多く使われますし、絵画や音楽などの芸術においても、題材として表現されています。

本展では、当館が収蔵する資料を中心に鳥が描かれたものや、かたどられたものを、考古・歴史・民俗・美術のジャンルを超えて紹介します。とりどりの資料をとおして、多様な博物館資料の世界をお楽しみください。



大槻文彦和歌短冊 (重要文化財)



鷹図



矢箱



### ワークショップ 「土の絵の具であそぼう」

内容/日本画に用いる土の絵の具を使って、鳥の下絵に色を付けます。

講師/菊池 咲氏 (画家)

日時/5月16日(土) 10:00~12:00

5月17日(日) 10:00~12:00

定員/各15名

電話申込必要/参加料100円



コノハスク形土製品



### 展示解説会

日時/4月18日(土) 13:30~

5月 3日(日・祝) 13:30~

5月 4日(月・祝) 13:30~

6月 6日(土) 13:30~

各40分程度

入館料が必要 申込不要



貝鳥貝塚出土の鳥骨



鶏舞装束 (一関市民俗資料館蔵)

## 一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市殿美町字沖野々215-1  
 TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006  
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

入館無料日 展示会初日 4月18日(土)  
 国際博物館の日 5月16日(土)・17日(日)

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円)  
 中学生以下 無料 ※ ( )内は団体(20名以上)割引料金

次の方々の入館料は免除いたします  
 ①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います)  
 ②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います)

最新の情報は、当館ホームページまたは  
 電話にてご確認くださいませ  
 お問い合わせはこちら

